



看板の汚れを落とす参加者

川の看板などきれいに

銚子川 夏の汚れ落とす

紀北町便ノ山の銚子

回目。

川流域で7日、「銚子川サインクリンアップ」が行われ、銚子川環境保全会の会員ら17人が川沿いにある看板や標識をきれいにし、ごみを拾い集めた。

同会とNPO法人ふるさと企画舎が「銚子川を日本一の川に」を合言葉に行っている取り組みで、今年で14

種まき権兵衛の里の駐車場には、町の役場や観光協会の職員、地域おこし協力隊、住民団体の交流空間みやまの会員が集合。ふるさと企画舎の田上至理事長が「多くの人がやってきた夏が終わり、標識や看板にお疲れ様という気持ちをこめてきれいしよう」と呼び掛けた。

午前8時30分から2時間ほど、魚飛び橋付近から国道42号の銚子橋まで、看板や標識の汚れをスポンジやブラシで落とし、落ちていたごみを火ばさみで拾い、草を刈った。

地域おこし協力隊の吉田訓子さんは「今日は自転車で銚子川沿いを走ってきたが、気持ち良い季節になった。これから川沿いの紅葉が楽しめる季節になるので、美しい銚子川を楽しんでもらえれば」と話した。